

002

マンション防災サービス全般に関するサービス
「マンション防災『マンボウ』manbow」

取組主体

大和ライフネクスト株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

8,019人

全般

全国

- 災害ごとの対応方法とマンション設備についてまとめた、各マンションでオンリーワンの防災マニュアルを作成。いつでも・どこでも・何度でもオンラインで参加可能なVR消防訓練を提供し、マンション住民の自助力向上をサポート。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

マンション住民の自助力・マンション防災力向上を目指す

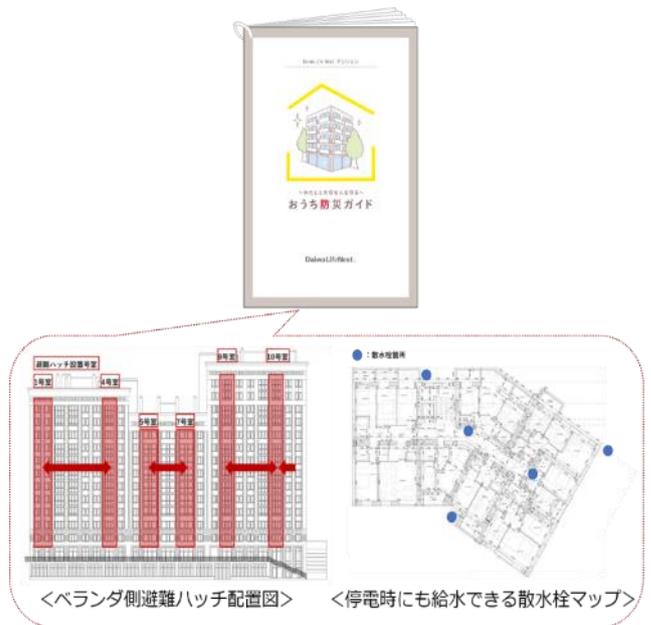
- マンション管理事業を手掛ける大和ライフネクスト株式会社は、マンション防災サービス全般に関するサービスブランド、「マンション防災『マンボウ』manbow」を展開している。
- マンションの防災においては、家具の固定や消火器の設置、食料や水等の備蓄品を自宅に備えるなどの自助に加えて、共用の防災備蓄品の把握等が必要になる。
- マンションは戸建てと異なり、共用部分にライフライン設備や消防設備があるが、自宅部分ではないため、住民にとって馴染みがないという実態がある。災害発生時には、マンションの管理会社も同様に被災する可能性があるため、マンションの設備を住民自らが使いこなし、ライフラインが止まった状態でも在宅避難をしながら生活を継続できる「自助力」が求められる。そのため、同社では「いつもの暮らしのなかで自然と備える暮らし」をコンセプトに、有事の際に必要な防災情報を日常生活に馴染むデザインで届けるサービスを展開している。



「マンション防災『マンボウ』」ブランドコンセプト

オンリーワン防災マニュアル制作サービス

- 同社は、令和3年6月より、各マンションの設備を一つひとつ調べ、マンション個別にオンリーワンの防災マニュアルを制作するサービスの提供を開始した。
- マンションごとにライフライン設備や消防設備の機能や使い方のマニュアルをまとめ、災害時の対応と災害後の在宅避難に必要な知識をサポートするとともに、停電・地震・火災・台風という災害ごとの対応方法と、マンション設備がそれぞれどのような状態になるのかを記載している。また、自宅で永久保存版として保管できるよう、冊子を厚紙で印刷して耐久性を持たせるとともに、いつでもすぐ活用できるように、冷蔵庫や玄関扉等にフックでぶら下げるリングを付けている。毎年の消防訓練や防災訓練の際に、持参して理解をより深めてもらう活用方法を想定している。
- マンション設備の変更時にも都度内容の更新作業を行い、再度全戸配付することが可能となっている。また、住民の退去に際し、新たな入居者にも配付できるよう、マンションで予備の冊子を保管している。



「オンリーワン防災マニュアル」イメージ

VR（バーチャルリアリティ）消防訓練サービス

- 令和3年11月より、いつでも・どこでも・何度でもオンラインで参加可能なVR消防訓練サービスの提供を開始した。本サービスは、横浜市消防局監修のもと、同社が株式会社理経と共同で開発した。新型コロナウイルスの感染拡大リスクにつながる大人数の集合を必要とせず、開催日時限定による集客のしづらさ等がないため、より多くの住民が気軽に消防訓練に参加することが可能になる。
- 初年度は、マンションでの火災発生をシミュレーションした「消火・避難・通報訓練」に関するVR映像を、スマートフォンやパソコンを使い、好きなタイミングで視聴できるように提供した。次年度以降は、VR映像の種類を増やすことで、管理組合が視聴する映像を選択できるサービスを計画している。そうすることで、各マンションに合わせた消防訓練の企画が実現でき、参加率の維持向上に寄与していく。
- 開催期間中に未視聴者をチェックし、再案内を複数回行い、参加率向上を図っている。また、視聴後にアンケートで知識の習熟度を確認するとともに、マンション内の設備等、各自で確認してほしい内容について周知し、再確認を促している。



「VR 消防訓練サービス」イメージ

2 現状の課題・今後の展開等

- 現在は、マンションの住民一人ひとりの「自助」に寄与できるサービスを最優先に提供しているが、マンションの防災では「共助」の観点も不可欠だと認識している。今後は、管理組合が「共助」に向けてどのような取組をしていけば良いのか、アドバイスをを行うサービスの提供を目指している。
- また、災害に強いマンションを目指して建物や設備といったハードの部分に着目し、マンション設備の防災力診断、修繕・改修工事の提案等にも力を入れていきたいと考えている。

3 周囲の声

- 本マニュアルはマンション設備に特化しているので、これ1冊でマンションの防災に関する設備状況が分かる点があるがたい。（オンリーワン防災マニュアル利用者）
- いつもの訓練では日程の都合で参加者が限られる傾向があったが、VR 消防訓練により参加条件のハードルが下がり、参加できる人が増えることは良いと思う。（VR 消防訓練サービス利用者）

担当者の声

- 日本では、災害は必ず来ます。災害は誰のせいでもないのですが、やり場のない気持ちの行先として行政や企業、他者へ責任を求めがちです。しかし、住む場所も働く場所も私たちは自分で選択しています。その地域にはどのような災害リスクがあるのか、建物は災害が発生した時にどのようになってしまうのか、それを踏まえて自分や大切な人を守るために、どういう備えをしたり、行動したりしたら良いのかについては、一人ひとりが意識を持つことが重要だと考えています。災害を想定して備え、いざという時には他責にせず、自分の判断で行動ができるようになること、自助がしっかりとベースにあることで、その先の共助につながると考えています。
- だからこそ、防災を「いつかではなく、いつもの暮らしのなかに。」をモットーに、防災があたり前のように暮らしのなかに存在する、そんな暮らしを実現していきたいと思っています。

問合せ先

大和ライフネクスト株式会社 法人番号：3120001066397
電話番号：03-5549-7020 FAX：03-5549-7021 E-Mail：m-b4kanesaka@dln.jp

サイト URL

